

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY
名古屋
ちくさ
題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 鈴木 聖三
幹事 太田 和孝
公共イメージ向上委員会 榎尾 富二

No. 17

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION

2018～2019年度

RI会長
バリー・ラシン

今日の例会

第1710回 平成30年12月11日(火)
年末会員家族懇親会

「雅の間」18:00～



先回の例会

第1709回 平成30年12月4日(火)曇
卓話：料亭つたも 代表取締役社長 深田 正雄 様

「住吉の語り部になりたい」

今も昔も尾張名古屋は世界一！

◆君が代

◆それでこそロータリー

◆ゲスト紹介

料亭 つたも 代表取締役社長 深田 正雄 様
(名古屋中 RC)

◆出席報告

正会員 37(31)名 出席 27名
出席率 87.10 %
前々回 11/13 (修正出席率) 87.10%

太田幹事報告

- 1) 11月理事役員会承認事項報告
- 2) 本日配布案内：新年例会案内 / R-列-の友 12月号
- 3) 次週は例会時間を変更して18時より年末会員家族懇親会です。昼間の例会はございませんのでお間違いないようお願い致します。

鈴木会長挨拶



皆さん、こんにちは。
さて、日本では高齢化が進んで様々な影響を及ぼしていますが、会社の継続に対する影響ということで話題を提供したいと思います。
ご存知のように、日本はすでに「超高齢社会」の中にあります。高齢化率は

2017年10月現在で27.7%。ちなみに名古屋市は24.5%です。同時に少子化ということで人口が減少する社会へ向かっています。
このような中で、事業承継といいますが、会社経営をど

のようにあとの世代に引継いでいくかということが、大きなテーマとなっています。経営者の高齢化が進み、一方で若い人が少なくなるということで、2025年には日本の約3割に相当する会社で後継者が決まっていないという見通しの数字も見られます。この後継者が決まっていないということは、休業・廃業の可能性が極めて高いということになります。この会社の休業・廃業ですが、現在でも予想以上に多いものがあります。2016年では約3万件で過去最多、2000年の2倍近い水準で、倒産件数の3.5倍となっています。このうち経営者の年齢が60歳以上の会社の割合が8割以上を占めており、休業・廃業の多くが経営者の高齢化、後継者の不在によるものが窺えます。このような後継者不足と休業・廃業の増加によって経済活動の様々な面に影響が現れることは容易に理解できます。黒字の企業・高収益の企業でも休業・廃業の可能性があると、熟練した技能を持つ従業員が引退や職種替えをせざるを得なくなることで、外国企業への事業売却や技術の海外移転を招き、国際競争力の落ち込みにつながる可能性があること、廃業する会社の取引先企業にも影響が出てくること等々が考えられます。地方ではすでに若い人が減っていますが、将来、後継者不足から地方経済がいつそう停滞することも予想されます。日本は入管法の改正によって人手不足に対応しようとしていますが、この後継者不足の問題にはどのように向き合えばいいのでしょうか。こういう時代こそ、若い人たちのチャレンジに期待したいと思います。

「そだねー」。昨日発表された流行語大賞の言葉がそのまま当てはまりそうです。

卓話

「住吉の語り部になりたい」

今も昔も尾張名古屋は世界一！

料亭つたも 主人 深田 正雄 様
(名古屋中 RC)



昭和32年頃まで、篤茂の筋向いの伝光院には紫式部のお墓・五輪の塔があり泉が湧いておりました。住吉一帯は泉に恵まれ川の源流となり、それは、紫川と呼ばれ2万7千年前頃・旧石器時代の堅三蔵遺跡、縄文時代の白川公園遺跡・紫川遺跡が流れに沿ってありました。

海抜11.5mの台地にある料亭篤茂旧店には現在も名古屋

屋築城と時を同じにしている3本の井戸があり、深さ33尺(10m)に木曾の伏流水が豊富に流れておりました。400年前の清洲越えの頃、町衆が住むために徳川家康に命じられた豊臣恩顧の大名は碁盤割りの各ブロックに25本前後の井戸を掘り、庶民の生活水として供用したようです。源流は住吉界隈、標高差4m、流域1.5kmの紫川は、伝光院から西に現在の名古屋市科学館北白川通りを流れ、伏見通りを南下して若宮通りを西に洲崎神社の南から堀川に暗渠として現在も流れております。

那古野の台地に清須越え!! 徳川家康の街づくり、宗春の「規制緩和とまあええがや」

特別経済都市として特例適用と産業育成で発展: 全国の大名の70%が当地から!

一国一城? 五公五民? 武家諸法度? 土農工商? 職芸奨励! 外様大名マネーで公共投資!

夕夕で作った城下町と清須越しの新しい町: 250年の平和と環境循環社会

碁盤割りの街づくり: 各ブロックの中心には閑所に寺を配置、町衆を武家が囲む

万松寺を中心に南寺町、建中寺のある東寺町: 防衛と独特な成り立ち、木戸活用、教育、衛生、治安、税金、文化、遊興、ゴミゼロ、自治、旅行、転勤なし

豊かな食文化・尾張は実質300万石以上米の余剰: 酒・味噌・米酢・野菜・養蚕

職芸から武士の民活、木材と生糸マネーからの旦那衆文化、肥料の宝庫、醸造業

お武家さまのアルバイト寺子屋先生・・・識字率世界トップ、物づくり技術伝承

牢屋・刑務所: 江戸の頃は「住吉町と広小路」角、明治時代・三蔵、吹上、三好八

戦後復興を支えたアメリカ村: 名古屋市民とともに文化遊興を楽しむ

新しい街づくり: ゼロからの戦後復興、進駐軍の貢献

名古屋市復興土地区画整理事業: 田淵寿郎助役の発想と実行力 / 100M道路、平和公園、中区の区画整理、アメリカ村供出

キャバレー、映画館、住宅、電設、保安、警備、メンテナンス、音楽バンド

時は流れて昭和20年、太平洋戦争の戦災で丸焼けになった名古屋に同年9月26日進駐軍が名港に上陸。名古屋市民に自分たちの家も無い状況の中、現在の栄2丁目

全域に米軍居住地を建設せよと命令し、翌年8月から上級士官家族132世帯が住み始めました。市民は大変だったと思いますが、悪いことばかりではありません。工事を

通じて、欧米の住宅建設や造園、空調・電気工事、給排水、清掃、警備などの技術に直にふれることができた

からです。荒廃した地へ新規の雇用と外貨が、市民生活を支えました。

アメリカ村は昭和33年に土地が返還され、現在では南半分が白川公園になっています。

名古屋都市づくりの三英傑

南武平町・・・松井武兵衛と吉田禄在の街づくり功績

藩祖義直の家来に松井武兵衛という御普請奉行がいた。禄高400石、清洲から遷府の際、城の南に居を構え、城

下町の設計に当り、町割り・屋敷割りの検地を行って、碁盤目の区画をつくりあげた功労者である。その功をた

たえてその住居付近を武兵衛と呼んだが、のち兵衛を短くして平と書くようになった。武兵衛は家康の命により清須越しを所轄、豊臣恩顧の大名の資金と労役を駆使し

て、バラバラであった清洲の町衆を町名もそのまま中央部の碁盤割りに移転。その際、寺社仏閣は宗派にわけて南寺町、東寺町を形成、万が一の外部からの攻撃に備えて松平の頃からの家老の菩提寺を碁盤割りに移設。そして、大木戸と各所木戸による城郭形成と町の自治を庶民に委託して世界に類ない見事な都市移転開発をしております。

また、豊富な木曾の伏流水から紫川、小袖川の流れと各ブロックに井戸を20~30本掘削し生活用水とし、ゴミゼロ社会、そして糞尿処理を汲み取りで近隣の田畑に下肥として活用。この素晴らしい環境循環社会には、現代人が見習うべきポイントが多くあります。

町人衆の碁盤割りの東隅武平町には中級武士の屋敷が並び、武兵衛が居住していた地については諸説ありますが郷土史家水谷盛光氏によれば現・栄公園付近とされています。名古屋の地名で個人の名前が承継されているのは、黒川の名前が残る技師・黒川治憲(1847~97年)と武兵衛のみで二人とも名古屋の大恩人です。

南武平町3丁目には吉田禄在翁3000坪の邸宅がありました。禄在は明治16年初代名古屋区長として東海道線ルートを起案し名古屋へ誘致させ、そして、広小路を長者町筋から西に拡幅、笹島の名古屋駅まで整備し街の開発に寄与。その後、中央線の千種駅開設に伴い、広小路を東に延長、武兵衛と並ぶ名古屋街づくりの恩人といえます。区長を辞した後、名古屋実業界において活躍し、自身が設立に関わった米商会所頭取、その後身の名古屋米穀取引所理事長、第四十六国立銀行頭取に就任。名古屋市近郊の愛知郡御器所村(現 昭和区鶴舞)に保有していた別荘地を鶴舞公園整備に伴って寄付し、かつての別荘地(現在の野球場周辺)には吉田の名を取って吉田山の名称が残されています。

私は名古屋都市づくりの三英傑として、武兵衛、禄在、そして、空襲で焼け野原となった名古屋の復興計画を実行した田淵寿郎の3氏を挙げ、偉人たちのプランや思い入れを私たちの街づくりの原点として大切に語り継ぎたく思っています。

ニコボックス

深田 正雄 様 (名古屋中 RC)

名古屋の昔話お楽しみ下さい。 住吉の語り部

小林 英毅

本日は囲碁会です。4階楓の間でお待ちします。

大口 弘和

過日行われました第2回0-列-情報研修委員会にご参加の皆様からのお気持ちを入れさせて頂きました。

鈴木 聖三

深田正雄講師をお迎えして名古屋住吉の歴史を語って頂きます。よろしくお願ひします。

宮尾 紘司 会員誕生日お祝い

朝倉 寿宜

福井 浩道

萩原喜代子

長谷川 亨

堀江 宏輝

池森 由幸

伊藤 健文

加藤 重雄

河合 隆史

牧野登志子

柵木 充明

鍋野 可幸

太田 和孝

大谷 恩

笹野 義春

志水ひろみ

舎人 経昭

碓氷 美佳

渡邊 源市

余語 秀陽

吉田 玄

次回例会: 平成30年12月18日(火) 12:30 名古屋東急ホテル3階 錦の間
友愛の日 (上期最終例会)